

令和5年度政務活動費収支報告

令和5年度に執行した政務活動費の収支報告を紹介します。

政務活動費は、地方自治法第100条第14項から第16項までの規定に基づいて条例の定めにより、香取市議会議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、議会における会派及び議員に対して交付されます。

交付時期は、4月に1年分を交付します。交付金額は、会派は所属議員数に月額10,000円をかけた額で、会派に属さない議員は1人当たり月額10,000円となります。収支報告は、毎年度終了後に全支出の領収書を添えた収支報告書を議長に提出することになっています。残額があった場合は、市に返還しています。

なお、過年度分の収支報告書や政務活動費を充てることができる経費等は、市議会ホームページで公開しています。

令和5年度 政務活動費収支報告

(単位：人、円)

会派名 支出科目	政友クラブ	誠信会	香取の未来	公明党	日本共産党	市民クラブ	コウシカイ 嚆矢会
会 派 人 数	5	5	4	2	2	2	2
交 付 額	600,000	600,000	480,000	240,000	240,000	240,000	240,000
支 出 額	392,034	328,824	483,355	68,662	261,923	0	239,741
調査研究費	316,776		192,290				114,649
研 修 費	73,058	328,824					122,380
広 報 費			291,065		261,923		
広 聴 費							
要 請 及 び 陳情活動費							
会 議 費							
資料作成費							
資料購入費	2,200			68,662			2,712
人 件 費							
事 務 所 費							
返 還 額	207,966	271,176	0	171,338	0	240,000	259

一般質問

ココがききたいQ&A

DX推進は地方行政ほど必要ではないか

Q ペーパーレス化への取り組みは。

A 令和5年2月に香取市自治体DX推進計画を定め、デジタル技術を活用した業務改善を推進しています。

Q ICTによるオンライン化で本庁と支所の距離をなくし市民に便利な各種手続きが可能だが。

A 先進自治体の動向等を研究し、ICTを活用した市民サービスの向上を図りたいと考えています。

Q DXの取り組みに若手職員の活用状況は。また、市長の考えは。

A 職員有志による「自治体DX推進プロジェクトチーム」を組織し、庁内の幅広い業務でDXを活用した業務改善等の検討を進めています。また、国の自治体DX推進計画や社会情勢等も勘案しながら、香取市としてふさわしいDXとは何かを模索しながら、市民サービスの向上を目指していきます。

デジタル田園都市国家構想交付金の活用

Q 交付金活用への取り組み状況は。

A 令和5年度に「AIチャットボットの導入などを含む市ホームページリニューアル」等の各事業へ活用しています。また、令和6年度は、「ラインを活用した行政手続オンライン化推進事業等」にも活用しています。

Q 農福連携など各課を跨ぐ事業の展望は推し測らないか。

A 令和5年度から複数の事業に交付金を活用していますが、複数の課が連携する事業への活用には至っていない状況です。交付金は、幅広い事業への適用が可能なため、積極的に様々な分野で活用を検討します。

意見 この交付金で実施できる事業は、幅広く検討できる。予算の無い地方行政が知恵と汗を出して使える財源を活用して欲しい。

観光地としての景観を作ろう

Q 歩きたばこを規制できないか。

A 公共施設の出入り口などへ啓発ポスター等を掲示していきます。

Q 忠敬橋交差点は、車が橋上歩道前に停車することから歩行者が危険だ。歩行者優先の形態に変更を望む。

A 市も交通安全対策は重要と考えていますので、県の事業で実施している忠敬橋の歩道拡幅工事に併せ交通安全対策等を、引き続き香取警察署等と協議していきます。

意見 たばこ以外にごみのポイ捨てやトイレ事情で市民のご指摘も受けている。

Q 全国発酵食品サミットに向けた現状は。

A 開催決定以降、実行委員会の開催等、県や神崎町、発酵関係事業者と協議を行うなど準備を進めています。今後、開催の機運を高め、発酵のまちづくりの推進に向けた取り組みを積極的に展開していきます。

意見 単発で終わるような事業なら無駄な予算を使ったことになる。そのためには素晴らしい事業に昇華して欲しい。



いのうとしお
伊能 敏雄 議員

